

3年

14

解説

時こくや時間の単位

____年 ____組

名前

ことば
言葉をたしかめましょう。

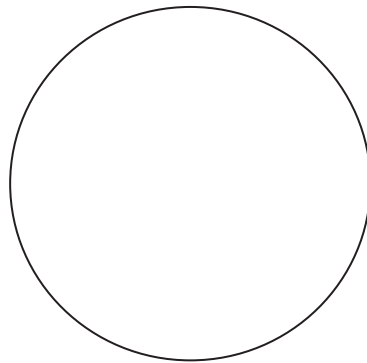
時こく→午前8時20分、午後3時10分といったような数

時間→時こくと時こくの間の長さ。

午前9時から午前11時の間の長さは2時間。

午後6時30分から午後7時45分の間の長さは1時間15分。

教室にある時計のめもりをかいてみましょう。



小さいめもりは長いはりの1分を表しています。大きいめもりはみじかいはりの1時間を表しています。分かるまでは時こくや時間の計算ではめもりを思いうかべるとよいでしょう。数直線のような図でもよいです。

①午後3時40分から、50分後の時こくと50分前の時こくを求めましょう。

教室の時計を見ながら、長いはりがめもり50こ分動くようすを考えましょう。10こ分ずつ動かすとすると、

3時40分→3時50分→4時 0分→・・・→4時30分

3時40分→3時30分→3時20分→・・・→2時50分

午後4時30分と午後2時50分になると分かります。

②午前8時20分から、午前9時10分までの時間を求めましょう。

教室の時計を見ながら、長いはりが何こ動いたら9時10分になるか考えましょう。10こ分ずつ動かすとすると、

8時20分→8時30分→8時40分→・・・→9時10分

それまでに5回動いていますから、50分間と分かります。